

ドッグトレーニング A y e ' s

わんわん運動会 選択科目

プチ競技会には下記の2つの部があります。
参加費はどちらも3000円となります。

①一般の部・・・JKC競技会で行われているCDⅡ(家庭犬競技中等科)の内容と同じです。

②選択の部・・・以下の30課目の中から、好きな課目をお選びいただけます。
5課目の部、10課目の部どちらかの出場になります。
課目ごとに紐付きか紐無しか選べますが、紐付きを選択した課目は、
その課目ごとに1点ずつ引かれます。

選択の部 課目一覧表

一步前に出てスワレ
スワレをさせた状態で犬の周りをまわる
脚側行進並びに停座
脚側行進中の停座
伏臥
伏せをさせて犬の周りをまわる
脚側行進並びに伏臥
脚側行進中の伏臥
遠隔:停座からの伏臥(犬から離れた状態で指示。距離は任意)
遠隔:停座からの立止(犬から離れた状態で指示。距離は任意)
紐付き脚側行進
紐無し脚側行進
停座並びに招呼(距離は任意)
伏臥並びに招呼(距離は任意)
立止
脚側行進並びに立止
脚側行進中の立止
物品持来(物品は個人で用意)
障害飛越
お手・おかわり
チンチン
寝ろ
ローリング
まわれ(一回転のみ。右回り、左回りどちらでも可。視符の度合いにより配点が変わる)
吠えろ
ハウス(ハウスは個人で用意。距離は任意)
足飛び
抱っこ
8の字くぐり
股くぐり歩き

○審査規定・・・1つの動作に対して行ってよい指示は1声符、1指付までとします。
2声符・2指符目、体を使っての誘導は減点対象となり、程度により審査員が判断して減点します。
申告時の態度(集中が無い、フラフラしている等)は減点されませんが、
競技中の態度は審査対象となり、程度により減点されます。
競技中に排泄してしまった、脱走してしまった場合など、審査員が競技を続けるのは不可能と判断した場合は失格となります。
競技は停座に始まり停座に終わる方針とします。

わんわん運動会・競技規定

① 紐付き脚側行進(出場者共通規定科目)

競技内容：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により犬と共に歩く(常歩)。所定の位置でターンしてからゆっくり歩き(緩歩)半分過ぎた時点で駆け足(速歩)でスタートの位置に戻る。

注意事項：声符はスタートと方向・速度を変える時に一声符かける事が出来る。

リードは基本的に使う事は出来ない。

リードの減点は言葉の減点より大きくなる。

② 紐無し脚側行進

競技内容：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により犬と共に歩く(常歩)。所定の位置でターンしてからゆっくり歩き(緩歩)半分過ぎた時点で駆け足(速歩)でスタートの位置に戻る。

注意事項：声符はスタートと方向・速度を変える時に一声符かける事が出来る。

③ 一歩前に出てスワレ

競技内容：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示で犬と共に一歩前に出てスワレを命じる。

注意事項：犬は指導士が止まった時、速やかに指導士の左脚側で停止し、指示により停座をする。行進を止める為のリードの使用は大きな減点となる。

④ 伏臥

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により、その場でフセをさせる。犬がフセをしたら審査員は約5秒数え終了する。フセの後にスワレをさせる必要はない。

注意事項：伏臥をさせる時の指導士の姿勢は直立している事を理想とする。かがんだり体を使っての誘導は程度により減点の対照になる。

⑤立止

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により、その場でタテをさせる。犬が立止をしたら約5秒後、審査員の指示により指導士はスワレをさせて終了する。

注意事項：立止をさせる時の指導士の姿勢は直立している事を理想とする。

⑥スワレをさせた状態で犬の周りをまわる

競技説明：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示によりその場でマテを命じ、犬の正面に立つ。審査員の指示により周りを1周まわり犬の正面に戻る。審査員の指示により、犬の後ろを通過して横に戻る。

注意事項：マテを命じる時は指導者の姿勢は直立している事を理想とする。

リードが張っている場合は程度により減点対象となる。

⑦伏せをさせた状態で犬の周りをまわる

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示によりフセ・マテを命じ、犬の正面に立つ。審査員の指示により周りを1周まわり犬の正面に戻る。審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。審査員の指示により停座をさせる。

注意事項：指導士は犬の周りを大きく回っても小さく回っても問題ないが、リードが張っている場合は程度により減点の対象となる。

⑧脚側行進並びに停座

競技説明：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により脚側行進を開始する。規定の線まで行進したら、一旦止まってスワレの指示を出し犬を停座させる。スワレをしたら指導者のみ線まで進んで振り返り、審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。

注意事項：犬は指導士が止まった時、速やかに指導士の左脚側で停止し、指示により停座をする。止める為のリードの使用は大きな減点となる。

⑨脚側行進並びに伏臥

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により脚側行進を開始する。規定の線まで行進したら、一旦止まってフセの指示を出し犬を伏せさせる。フセをしたら指導者のみ線まで進んで振り返り、審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。

注意事項：犬は指導士が止まった時、速やかに指導士の左脚側で停止し指示により伏臥をする。止める為のリードの使用は大きな減点となる。フセをさせる時の指導士の姿勢は直立している事を理想とする。かがんだり体を使つての誘導は程度により減点の対照になる。

⑩脚側行進並びに立止

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により脚側行進を開始する。規定の線まで行進したら、一旦止まりタテの指示を出し犬を立止させる。タテをしたら指導者のみ線まで進んで振り返り、審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。

注意事項：犬は指導士が止まった時、速やかに指導士の左脚側で停止し指示により立止をする。止める為のリードの使用は大きな減点となる。タテをさせる時の指導士の姿勢は直立している事を理想とする。

⑪脚側行進中の停座

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により脚側行進を開始する。規定の線まで行進したら、歩度を変えることなくスワレを指示して、指導者のみ線まで進んで振り返り、審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。審査員の指示によりスタートラインに戻り、犬を脚側停座させる。

注意事項：スワレの指示を出す時の歩調の変化、体の動作により減点の対象となる。

⑫脚側行進中の伏臥

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により脚側行進を開始する。規定の線まで行進したら、歩度を変えることなくフセを指示して、指導者のみ線まで進んで振り返り、審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。審査員の指示により犬を停座させ、審査員の指示によりスタートラインに戻り、犬を脚側停座させる。

注意事項：伏せの指示を出す時の歩調の変化、体の動作により減点の対象となる。

⑬脚側行進中の立止

競技説明：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示により脚側行進を開始する。規定の線まで行進したら、歩度を変えることなくタテを指示して、指導者のみ線まで進んで振り返り、審査員の指示により犬の後ろを通過して横に戻る。審査員の指示により犬を停座させ、審査員の指示によりスタートラインに戻り、犬を脚側停座させる。

注意事項：タテの指示を出す時の歩調の変化、体の動作により減点の対象となる。

⑭停座並びに招呼

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示でマテを命じ、犬から離れ（任意の距離）振り返る。審査員の指示により指導者は犬を呼び、対面停座させて脚側停座させるか、直接脚側停座させて終了する。

注意事項：犬が動き出してから体の動きは減点の対象となる。

⑮伏臥並びに招呼

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示でフセ・マテを命じ、犬から離れ（任意の距離）振り返る。審査員の指示により指導者は犬を呼び、対面停座させて脚側停座させるか、直接脚側停座させて終了する。

注意事項：犬が動き出してから体の動きは減点の対象となる。

⑯遠隔 停座からの伏臥

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示でマテを命じ、犬から離れ（任意の距離）振り返る。審査員の指示により指導者はフセを命じる。

注意事項：指示は1回で行うことが望ましい。体を動かして指示した場合は減点の対象となる。

⑰遠隔 停座からの立止

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示でマテを命じ、犬から離れ（任意の距離）振り返る。審査員の指示により指導者はタテを命じる。

注意事項：指示は1回で行うことが望ましい。体を動かして指示した場合は減点の対象となる。

⑱ ハウス(ハウスは個人で用意する事)

競技内容：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示でマテを命じ、任意の位置にハウスを置き犬の横に戻る。審査員の指示により指導士は犬にハウスを命じ、ハウスに入ったらマテをかける。5秒後、審査員の指示により犬を呼び寄せ脚側停座させて終了する。

注意事項：指示が多い場合、マテが出来ず戻ってきた場合は大きな減点の対象となる。

⑲ お手・おかわり

競技内容：指導士はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示によりマテを命じて犬の正面に回る。審査員の指示により犬にお手を命じ、犬の片方の手を軽く握る。審査員の指示によりおかわりを命じ、もう一方の手を軽く握る。

注意事項：指導手が差し出す手は、片手のみとする。

指導手が犬の手を取りに行くような誘導的態度は減点対象となる。

⑳ まわれ(右回り・左回り、どちらでも可) 1回転

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示によりマテと言って犬の正面に回る。審査員の指示により“まわれ”と指示する。

注意事項：指符は犬の頭より上で行う。顔の横で行うと誘導と見なし減点の対象となる。

㉑ 吠えろ(1回)

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示によりマテと言って犬の正面に回る。審査員の指示で指導士は“吠えろ”を命じる。

注意事項：指導者は直立の状態で指示を出すのが望ましい。

㉒ チンチン

競技内容：指導者はスタートの位置でスワレをさせ、審査員の指示によりマテと言って犬の正面に回る。審査員の指示により犬にチンチンを命じ、約5秒間後、審査員の指示により停座を命じる。

注意事項：停座の命令にすばやく反応ができない場合も減点となる。

㊸寝ろ

競技内容：指導者は審査員の指示により犬に伏臥を命じ、犬と対面し、審査員の指示により

寝ろを命じる。犬が寝ろの状態になってから約5秒間経過後、審査員の指示により犬を停座させる。

注意事項：犬の姿勢は頬を地面に付けた状態が望ましい。

㊹物品持来（物品は個人で用意）

競技内容：犬をスタートラインに停座させる。審査員の指示により指導手は犬に待てを命じ、物品を前方に投げ（任意の距離）審査員の指示により犬を発進持来させる。

物品を咥えたら犬は指導者の前で対面停座し、指導者は物品を受け取り脚側停座させる。

直接脚側停座させて物品を受け取っても良い。

注意事項：素直に物品を渡さない場合も減点対象となる。

㊺障害飛越（片道）

競技内容：指導手は審査員の指示により犬を飛越に必要な任意の助走距離をとった障害の前位置に脚側停座させる。審査員の指示により指導手犬に飛越を命じる。犬が飛越したら、立止の状態でもマテを命じ、指示により常歩で犬の左側から後方を通り犬の元へ行き、審査員の指示により停座させる。

注意事項：障害の高さは任意とする。個人で用意したものを使用しても良い。

㊻ローリング（1回転）

競技内容：犬を所定の位置に脚側停座させる。審査員の指示により指導手は犬に伏臥を命じ犬と対面する。審査員の指示により犬にローリングを命じ、1回横転させる。

注意事項：右回転でも左回転でも良い。指示の際に指導者がかがんだり体で誘導してしまっている場合は減点の対象となる。

⑳足飛び

競技内容：犬を所定の位置に脚側停座させる。審査員の指示により指導手は犬を待たせ、任意の助走距離をとる。審査員の指示により片足を上げ、犬に飛越を命じる。

犬が飛越したら、立止状態でマテを命じ、指導手は直立し、審査員の指示により停座させて終わる。

注意事項：足を上げる高さは任意とする。

㉑抱っこ

競技内容：犬を所定の位置に脚側停座させる。審査員の指示により指導手は犬と対面し、

審査員の指示により犬にだっこを命じる。だっこをして約5秒後審査員の指示により犬を安全に降ろし停座させる。

注意事項：犬を降ろす際に乱暴な行動が見られた場合大きな減点となる。

㉒8の字股くぐり（3回）

競技内容：犬を所定の位置に脚側停座させる。審査員の指示により指導手は両足を開いて立ち、指示により犬に8の字型に股くぐりさせる。3回連続で行った後、指導者は速やかに直立し、脚側停座させる。

注意事項：くぐれの声視符は、開始時1回のみとする。

㉓股くぐり歩き（4歩以上～任意の距離）

競技内容：犬を所定の位置に脚側停座させる。審査員の指示により指導手は犬に股くぐり歩きをさせながら、なるべく自然に歩く。任意の距離を歩いたら（4歩以上）指導者は直立し、脚側停座させる。

注意事項：くぐれの声視符は、出発時1回のみとする。